

第3章 計画の目指すもの

1. 宇土市の将来の望ましい環境像

宇土市は、宇土半島の山々と、緑川河口部の肥沃な大地と、水産資源が豊富で特色のある有明海を有し、豊かな自然環境に育まれながら、古くから交通と文化の要衝の地として発展してきました。

しかし、その一方で、現在における私たちの便利で豊かな日常生活や事業活動が、直接又は間接的に関係して、河川・海域・地下水の水質汚濁、大気汚染、自然環境の破壊、廃棄物の増加、不法投棄等の環境問題を生じさせています。私たちは、大量生産・大量消費・大量廃棄の生活様式を見直し、常に環境や自然の物質循環に配慮した行動を取ることで、これら環境問題の解決に努め、豊かな自然環境と古くからの文化を維持・向上させながら、次世代に引き継いでいかなければなりません。

このような環境に関する課題に取り組み、市、市民、事業者及び民間団体が協働して、快適で安心できるまちづくりを進めるため、宇土市の将来の望ましい環境像を以下のように設定しました。

「次世代に責任の持てる地域環境を

みんなで創るまち 宇土市」

2. 長期目標

宇土市の将来の望ましい環境像の実現には、市、市民、事業者及び民間団体が協働して、環境負荷の小さな社会を形成していくことが必要です。望ましい環境像を実現するための4つの長期目標を以下のように設定しました。

<協働・参加>

「みんなで環境について学び考えるまち」

市、市民、事業者及び民間団体が一体となって、環境の保全と創造に関することを、自発的に考え、学び、行動していくことを目指します。

<安全・安心>

「みんなで育む安心な暮らしと豊かな文化と水のまち」

市、市民、事業者及び民間団体が一体となって、市民生活における環境の保全を図り、快適で安心できる暮らしの実現と魅力あるまちづくりを目指します。

<共生>

「みんなで育む豊かな自然が息づく山と川と海のまち」

本市には山、川及び海が揃い、それぞれに関連しあって豊かな自然環境が育まれています。これら豊かな自然環境の地域特性に応じて、すぐれた自然の保護、身近な自然の保全と創出、人と自然との豊かな触れ合いの確保、森林・農地・水辺等の多様な自然環境の体系的な保全等、自然と共生したまちづくりを、市、市民、事業者及び民間団体が一体となって目指します。

<低炭素・循環>

「みんなで取り組む資源循環・低炭素のまち」

市、市民、事業者及び民間団体が一体となって、日常生活や事業活動等によって発生したものを資源として有効活用することにより、環境への負荷をできる限り少なくするとともに、資源やエネルギーの利用抑制、資源の再利用や効果的な使用により、低炭素・循環を基調とする社会を形成することを目指します。

第3次宇土市環境基本計画の構成

